

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 EXP-S151		S/No. 	
お 買 い 上 げ 年 月 日		年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保 証 期 間		対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年	
お 客 様	お 名 前	様	
	ご 住 所	〒 	
販 売 店	店 名 ・ 住 所	TEL ()	
	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。		
故障内容記入欄			

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
(ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※ 本書を紛失しないように大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

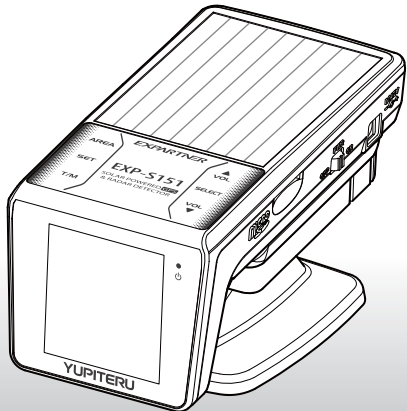
1ボディ・ソーラータイプ
GPS & レーダー探知機

EXP-S151

取扱説明書／保証書(裏面)

12V車専用 ダウンロード対応

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、スピード取締り機の前もってお知らせする受信機です。



目 次

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	6
各部の名称とはたらき	8
取り付けかた	10
充電について	13
microSDカードの出し入れ	15
基本的な使いかた	16
表示内容	18

使いかた

レーダー編	
レーダー波受信時の動作について (レーダーアラーム)	20
レーダー波3識別(iDSP)について	21
GPS 編	
GPS 測位機能について	22
警報ボイスについて	23
警告させたい地点を登録する (マイエリア登録)	39
無線編	
各種無線電波を受信すると	40
設定編	
各種設定のしかた	42

その他

取締りのミニ知識	48
故障かな?と思ったら	50
仕 様	52
ity.データ更新サービス	53
アフターサービスについて	54
保証書	裏表紙

・レーダー波を発射しない取締り（光電管式、追尾方式など）やステルス型取締りの場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
・本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険： 危険内容が無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う高い可能性が想定されます。

⚠ 警告： 警告内容が無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 注意： 注意内容が無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

🚫 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

! この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●ニッケル水素電池について

⚠ 危険



分解、改造、はんだ付けしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



ニッケル水素電池の端子部を針金などの金属で接続しない。また、他の金属と一緒に保管したり、持ち運びしない…ニッケル水素電池がショート状態となり、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



火の中に投入したり、過熱したりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



万一、ニッケル水素電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告



ニッケル水素電池を濡らさない。また、濡れたニッケル水素電池を充電したり、使用しない…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



濡れた手でニッケル水素電池をさわらない…感電の原因となることがあります。



濡れた手でニッケル水素電池をさわらない…感電の原因となることがあります。



ニッケル水素電池が漏液したり、変色・変形、その他今までと異なることに気付いたときは、使用しない…発熱、発煙、破裂、発火の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意



ニッケル水素電池を充電するときは、取扱説明書をよくお読みください。



指定(専用ニッケル水素電池)以外の電池を使用しないでください。



火のそば、ストーブのそばなどで充電したり、放置しない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



ニッケル水素電池の被覆をはがさない…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



乳幼児の手の届かないところに保管する。また、使用する際も、乳幼児が機器本体から取り出さないようご注意ください。

⚠警告

-  水をついたり、水をかけない。また、濡れた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
-  機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
-  取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
-  万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
-  エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグコード使用時に配線が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。
-  急発進したり急ブレーキをかけない…安全運転上、大変危険です。また、本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
-  車両のバッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
-  医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

⚠警告

シガープラグコード接続時

-  シガーライターソケットやシガープラグコードのプラス端子、マイナス端子の汚れはよく拭く…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
-  シガープラグコードは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
-  濡れた手でシガープラグコードの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。
-  12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、シガーライターソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
-  煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

⚠注意

-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  取り付けや取り外しは確実に行う…落ちたりして、ケガや破損の原因となります。
-  突起部分などでケガをする恐れがあります。取り付けや取り外しの際は十分ご注意ください。
-  本体を保管する場合は、ソーラーパネルや本体外装部が衝撃等により破損しないようにご注意ください。
-  車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワー OFF 機能を搭載していますが、使用しないときは電源スイッチを OFF にしてください。

シガープラグコード接続時

-  シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。コードを持たずに抜いてください。
-  お手入れの際は、シガープラグコードを抜く…感電の原因となります。
-  車から離れるときは、シガープラグコードを抜く…エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

使用上のご注意

はじめに

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 必ず専用のニッケル水素電池を接続してご使用ください。ソーラー電卓などとは違い、ソーラーパネルだけで動作させることはできません。
- 本機は、シガープラグコードを接続せずにニッケル水素電池だけで使用することが可能ですが、必ずご購入時にシガープラグコードをご使用いただき、満充電を行ってからご使用ください。日中は屋外駐車にてソーラー補充電を行い、目安として本機を一日2～3時間程度使用し、駐車中は電源をOFFにした場合の連続使用時間は、無警報の状態で約40時間以内となります。
- 以下の使用下においては、随時シガープラグコードからの充電が必要になることがあります。
 - ・ウィークデーは屋根付き駐車場に止め、土日のみ使用する場合
 - ・日中は車両を屋根付き駐車場に置き、夜間および雨の日のみ使用する場合
 - ・日本海側の地区で冬期のみ使用する場合
 - ・その他、充電電のバランスが保てない環境で運用した場合
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能(● 22ページ)がはたらかない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

ニッケル水素電池に関する注意

- 本機を初めてご使用になられる場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。(● 13ページ)
- 本機は半永久的にソーラーパネルのみ(コードレス)で使用する訳ではありません。ローバッテリー警告(● 14ページ)が鳴った場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。
- 本機はGPS受信機を搭載しており、電流を多く消費します。ご使用になる条件によっては電池の消耗が早くなることがあります。

- 専用ニッケル水素電池には寿命があります。充電を行っても、使用できる時間が短くなった場合は、新しい専用ニッケル水素電池と交換が必要です。交換用ニッケル水素電池の購入についてはお買い上げの販売店にご注文ください。

表示部

- 表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- 直射日光が当たると、反射により表示部が見えにくくなる場合があります。

シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。

レーダーアラーム(● 20ページ)に関する注意

- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- 狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。(● 21, 48ページ)
- レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に検知することができませんので、あらかじめご了承ください。

GPS 測位機能(● 22ページ)に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 走行速度や距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。GPS測位状況によって、実際とは異なる場合があります。
- 車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- GPS警報の左右方向識別ボイス(● 23ページ)は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

無線2バンド受信機能(● 40ページ)に関する注意

- カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機は、受信した無線音声を聞くことができません。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー2識別(● 41ページ)は、はたらかません。

- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによるダッシュボードの変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

画面表示に関する注意

- アイコン表示(● 18ページ)はGPS測位状況や各種設定状況により異なります。
- GPS測位が完了するまでは、「測位情報」を表示し、GPS測位すると設定した待受画面を表示します。
- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- 走行速度や距離などの表示は、GPSの電波で計測しており、補正機能はございません。GPS測位状況によって、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。なお、車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- 渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- 本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

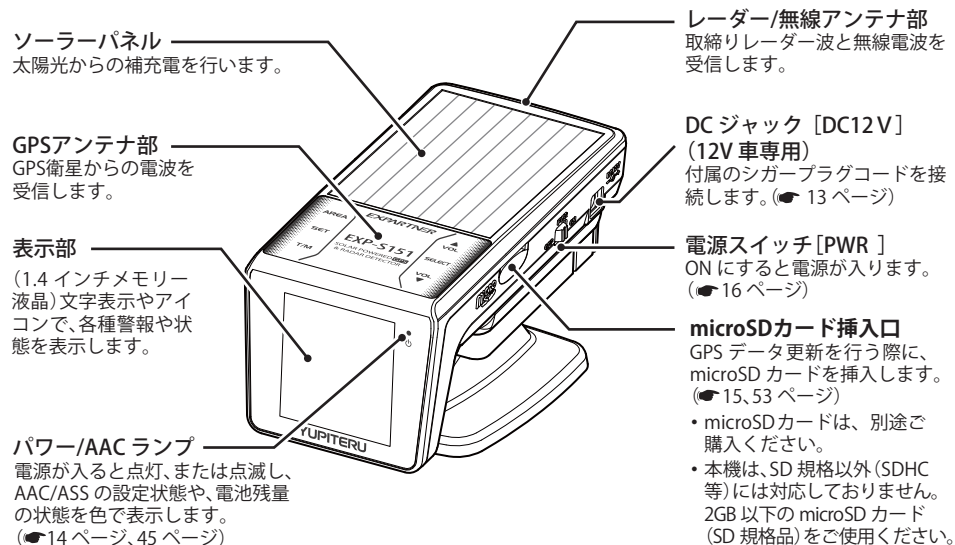
バックライトの動作

- ニッケル水素電池だけで使用している場合は、警報時やボタン操作をした際は、バックライトが点灯します。
- シガープラグコードから電源を供給している場合は、電源ONの間、常時バックライトが点灯します。

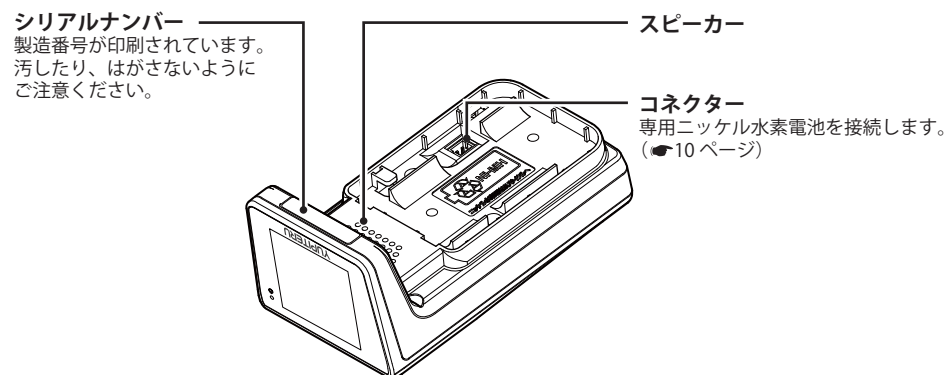
各部の名称とはたらき

本体

正面



背面

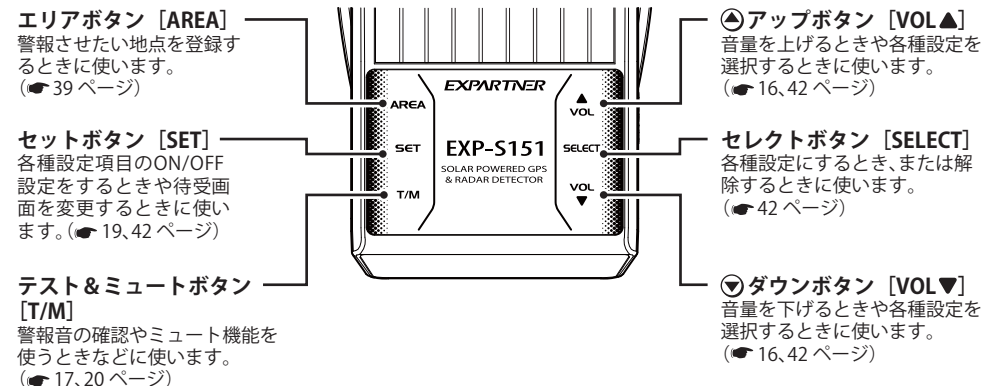


高架下でも、しっかり警報！

超高感度GPS受信機能「GPS-EX」搭載！

弱信号捕捉技術により、感度が大幅に向上した超高感度GPSモジュールを採用。今まで警報しなかった高架下などの弱信号環境においても、途切れにくい動作を可能にし、警報できるようになりました。

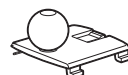
ボタン



付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

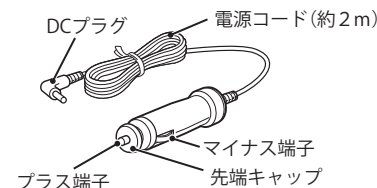
- ボールジョイントブラケット



- ダッシュボードベース



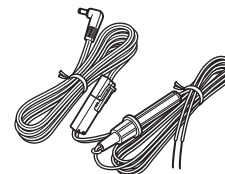
- シガープラグコード



- 専用ニッケル水素電池
- 粘着マット
- マジックテープ
- 取扱説明書・保証書(本書)

別売品のお知らせ

- 電源直結コードOP-4(約4m)
1,575円(税込)
シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。
- 交換用ニッケル水素電池
2,100円(税込)
本電池は本機専用です。

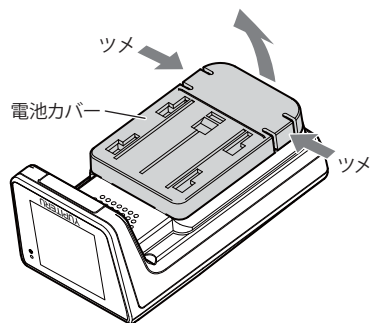


※ 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、購入店、または弊社製品取扱店でご注文ください。

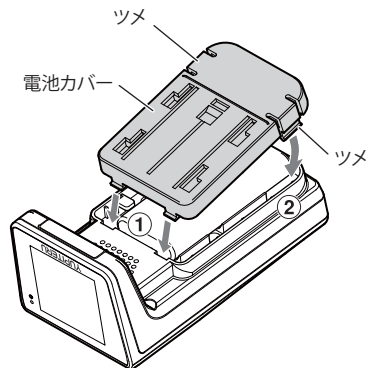


専用ニッケル水素電池の取り付け

- 1 電池カバーを外す
ツメの部分を押しながら引き上げます。



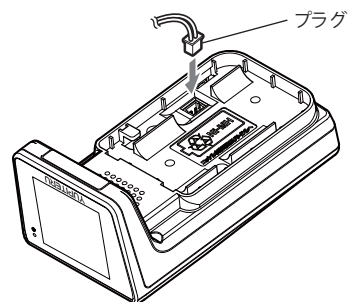
- 3 電池カバーを取り付ける
①の方向に差し込み、ツメの部分を押さえて②の方向に下げ、ツメを固定します。



ニッケル水素電池を外すときは (交換時など)

電池カバーを外してから、ニッケル水素電池を外します。

- 2 付属の専用ニッケル水素電池を接続する
本体底面のコネクタに、専用ニッケル水素電池のプラグを向きに注意して差し込みます。



お願い

本機は、リサイクル可能な電池(ニッケル水素電池)を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、端子部をテープなどで絶縁して(端子部の金属が露出していない場合は除く)最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。

- ・リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC のホームページ (<http://www.jbrc.net/hp>) をご参照ください。



ニッケル水素電池はリサイクルへ

本機は、自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットを採用しています。また、国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。

粘着マットについて

強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。はがしても跡が残りにくいのが特長です。

粘着マットの上手な使いかた

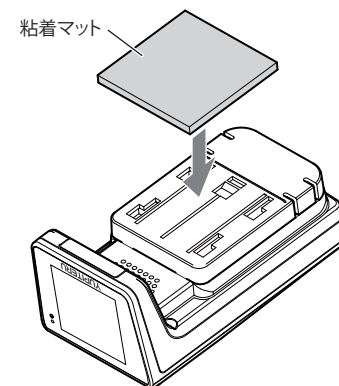
- ・貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを確認してください。
- ・貼り付ける側の保護シートをはがし、しっかり貼り付けてください。
- ・できるだけ水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- ・ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

※ 粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱のマジックテープを使用するか、市販の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し、固定してください。
まれに、ダッシュボードが変色・変形(跡が残る)することがありますが、あらかじめご了承ください。

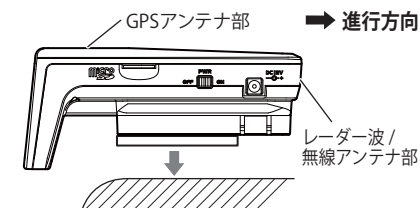
車両への取り付け

ダッシュボードに直付けする

- 1 電池カバーに粘着マットを貼り付ける



- 2 本体を道路に対して水平に近く、レーダー波/無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように、ダッシュボードに固定する



- ・GPSアンテナ部の上やレーダー/無線アンテナ部の前に、他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような水平に近い平坦な場所に取り付けてください。

取り付けかた

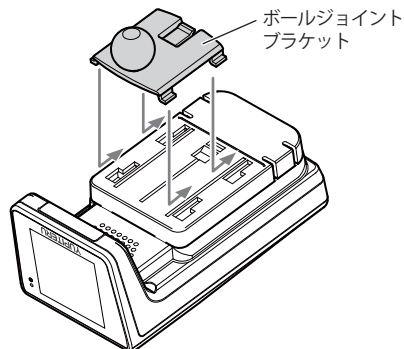


GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

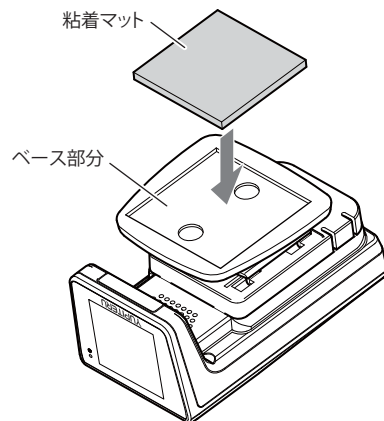
ブラケットを使用して取り付ける

1 本体にボールジョイントブラケットを取り付ける

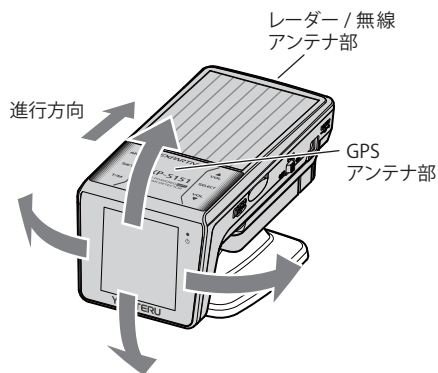
電池カバーとボールジョイントブラケットの形状が合うようにはめ込み、スライドさせます。



3 ベース部分に粘着マスを貼り付ける



4 本体を道路に対して水平に、またレーダー/無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように、角度を調整し、ダッシュボードに固定する



- ・GPSアンテナ部の上やレーダー/無線アンテナ部の前に、他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- ・ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボードベースを持って、ゆっくりと行ってください。本体を持つと、破損の原因となります。

充電について

本機は、シガーライターソケットからの充電・使用に加え、ソーラーパネルによる太陽光からの補充電ができます。

初めてご使用になるときやローバッテリー警告が鳴った場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。

- 充電は本機の電源スイッチのON/OFF に関係なく行われます。
- 充電温度範囲：-5℃～+85℃

シガープラグコードからの充電

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、付属のシガープラグコードを、DC ジャックと車のシガーライターソケットに差し込む



シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。

- ・エンジンを止めた場合に、シガーライターソケットに電源が供給されない車種であれば、シガープラグコードを常に接続した状態でご使用いただけます。

ソーラーパネルからの充電(補充電)

●ソーラーパネルに太陽光がよく当たる場所に取り付ける 駐車するときは、ソーラーパネルに直射日光がよく当たるように心がけてください。

※バッテリー(専用ニッケル水素電池)の放電が進むと、太陽光からの補充電ができにくくなる場合があります。このようなときは、シガープラグコードからの充電を行ってください。

充電について

充電方法とパワー/AAC ランプ

充電方法により、パワー/AAC ランプが変わります。

充電方法	パワー / AAC ランプ
シガープラグコード	点灯
ソーラーパネル	点滅

・パワー/AAC ランプの色は、AAC の設定状態によって変わります。(●53ページ)

ローバッテリー警告とバッテリー残量表示

●ローバッテリー警告

充電不足でバッテリーが消耗してくると、ボイス・アラームのお知らせを行います。

バッテリーの状態	ボイス・アラームのお知らせ
バッテリーが消耗し、 すぐに充電が必要な状態 ・すべての機能が動作しなくなります。	『充電してください』とローバッテリー警告のお知らせを行います。 続けて『ブブブッ ブブブッ…』とローバッテリー警告が約 1 分間鳴ります。

●バッテリー残量表示

シガープラグコードを本体 DC ジャックから抜いた状態でテスト & ミュートボタン [T/M] を押している間、バッテリーの状態を表示します。

バッテリーの状態	パワー / AAC ランプ
残量が十分 [満充電]	緑色点灯
少し消耗	オレンジ色点灯
残量が少ない	赤色点灯

- ・電源を入れても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- ・温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリーの残量を正しく表示できないことがあります。

※付属の専用ニッケル水素電池には寿命があります。充電を行っても使用可能時間が短くなった場合は、販売店に「EXP-S151 用のニッケル水素電池」とご注文のうえ、新しい電池を購入し、交換してください。

microSDカードの出し入れ

GPSデータ更新の際(●53ページ)は、市販の2GB以下のmicroSDカードを別途で用意ください。
※ microSDカード との相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

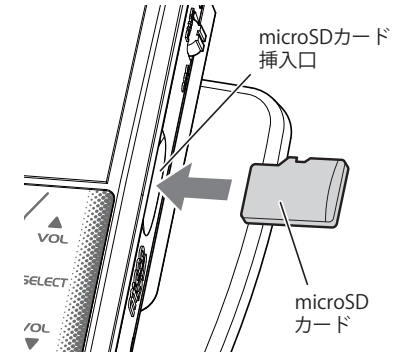
⚠ 注意

- ・ microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- ・ microSDカードは一方向にしか入りません。microSDカードを下図のように差し込んでください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。
- ・ データ更新中は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。

電源をOFFにして microSD カード挿入口に、microSD カードを『カチッ』と音がするまで差し込む

右図の向きに合わせて差し込んでください。

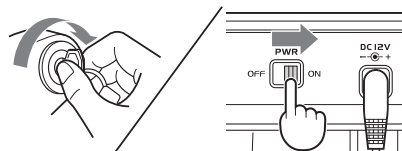
- ・ microSDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・ microSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。
- ・ microSDカードは、必ず取り外してご使用ください。
- ・ microSDカードの接続や取り外しは、無理に差し込んだり引き抜かないでください。
- ・ microSDカードを接続したままの状態や、半分挿入した状態でご使用にならないでください。
- ・ microSDカードを取り外したあとは、各microSDカードの説明書の指示にしたがって大切に保管してください。



基本的な使いかた

1 電源を入れる

車のエンジンを始動し、電源スイッチを「ON」にします。
オープニング画面が表示され、「パワーONです」と発声します。



〔オープニング表示〕

電源が入ると、「GPS 測位機能」(22 ページ) がはたらき、GPS の電波を受信すると、待受画面が表示されます。



GPS の電波を受信するまでは、測位情報画面になります。

※待ち受け画面がOFFに設定されている時は表示OFF画面になります。



測位情報画面



表示OFF画面

2 音量を調節する

▲ アップボタン [VOL ▲] / ▼ ダウンボタン [VOL ▼] で調節できます。

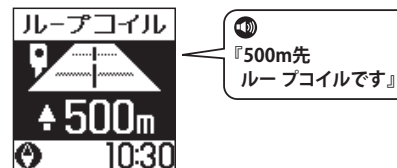
『ピッ』という確認音を聞きながら調節します。

最大音量からさらに▲を押すと『ブッ』と鳴ります。



3 実際に走行してみる

GPSターゲットに近づくとき...



取締無線を受信すると...



ステルス波を受信すると...



テストモード

テスト & ミュートボタン [T/M] を押している間はテストモードとなり、警報音を確認できます。いったんテスト & ミュートボタン [T/M] から指を離し、1 秒以内に再度押すと、ボイスフレーズを確認できます。

オートパワーON/OFF

●ニッケル水素電池だけの使用時

電源スイッチがON状態で、アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れます。再度、振動を検出すると電源が入ります。

・振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。

使用しないときは電源スイッチで電源をOFFにしてください。

・走行中でも、低速走行や一時停止など、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFFがはたらきます。

●シガープラグコード接続時

電源スイッチがON状態で、シガープラグコードまたは電源直結コード(OP-4)接続時は、DC12V電源の供給の有/無で電源をON/OFFします。

バックライト

●ニッケル水素電池だけの使用時

警報時やボタン操作をした際は、バックライトが点灯します。

●シガープラグコードからの電源供給時

電源ONの間、常時バックライトが点灯します。

表示内容

※ アイコン表示は、GPS 測位状況や各種設定状況等により異なります。

はじめに

アイコン表示について



表示名		アイコン	表示の意味
1	方位磁針		GPS 測位後に表示し、黒色の針が北方向を指します。
2	レーダー警報		レーダー波を受信すると表示します。 (☛ 20 ページ)
3	車上狙い多発エリア		車上狙い多発エリア内で表示します。 (☛ 33 ページ)
	駐禁監視エリア		駐禁監視エリア内で表示します。 (☛ 31 ページ) ※車上狙い多発エリア内では、車上狙い多発 エリアアイコンが優先して表示されます。
4	時刻		現在の時刻を表示します。

・停車状態では正しい方位を表示できない場合があります。

GPS も、無線も、レーダーも、表示とボイスのダブルで警報します。

- ・ GPS 47 識別
- ・ 無線 2 バンド識別
- ・ ベストパートナー 2 識別
- ・ レーダー波 3 識別

ターゲット 54 識別

はじめに

メッセージ表示例

待受画面

待受時の表示画面を「デジタル時計＆緯度・経度」、「アナログ時計」、「速度」、「カレンダー」、「測位情報」、「OFF」の中から選択できます。セットボタン[SET]を押すごとに、以下の順番で待受画面が変更されます。

デジタル時計＆緯度・経度

時刻と現在地の緯度・経度を表示



アナログ時計

時刻を表示



速度

SPEED 欄に走行速度を表示します。
注意が必要な場所では LIMIT 欄に制限
速度を表示します。
(☛ 26 ページ「制限速度告知」)



OFF

表示されません



測位情報

衛星捕捉数を表示



カレンダー

日付を表示



- ・ 日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・ 時刻の表示は、24 時間表示です。

- ・ 走行速度の表示は、GPS 測位状況により実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- ・ 制限速度の情報が無い場合、LIMIT 欄の表示は「0km/h」となります。
- ・ 制限速度表示は、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりません。

フレックスディマー

夜間は、各ランプの明るさを抑え、眩しさを防ぎます。
GPS の時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて自動的に各ランプの明るさを調整します。

レーダー波受信時の動作について(レーダーアラーム)

本機は、W アラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。[レーダーアラーム]

W アラーム

音(電子音/ボイス)と表示のダブルで警報します。

オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

後方受信

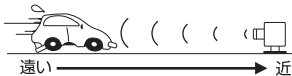
iDSP による超高精度識別およびエクストラの高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もしっかり受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができれば、警報中にテスト&ミュートボタン[T/M]を押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)にあわせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	
電子音アラーム	『ピピピッ...』 → 『ピーーーー』 断続音から連続音に変化します。
液晶表示	受信レベルが変化します。  受信レベル表示

・ボイスはテンポアップしません。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/ 統合的デジタル信号処理技術(Integrated Digital Signal Processing-Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル(●44 ページ)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

1 ステルス波



2 通常レーダー波



3 キャンセル告知



・新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ・ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

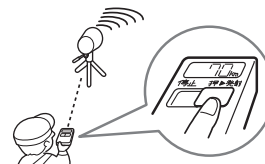
<ステルス波を受信したとき>

受信

♪効果音のあとに『ステルスです』
『ステルスです』



『ステルスです』と警報したあとは、通常の警報音(電子音、ボイス)の警報になります。



GPS 測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警告します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、47種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS 47 識別]

●GPS データについて

本機には、あらかじめオービス(無人式自動速度取締装置)やNシステムなどのGPSデータが登録されています。

GPSデータの更新については、53ページ「ity.データ更新サービス」をご覧ください。

GPS 測位機能は、本機の電源をON にするとはたきます。
GPS 測位機能のみOFF にすることはできません。

測位アナウンスについて

- GPSの電波を受信(測位)すると、『測位しました』とお知らせします。約5分経過しても測位できないときは、『GPSをサーチ中です』とお知らせします。・測位したあとでも、GPSの電波を受信できない状態が約1分以上続くと、『GPSを受信できません』と非測位のお知らせをします。非測位のお知らせをしたあとに、再び測位すると『GPSを受信しました』とお知らせします。
- ビルの谷間など、GPSの電波の受信状態が良くない場合、『GPSを受信できません』『GPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。
- 測位アナウンスを「OFF」にすることはできません。

通常、測位するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、測位に20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

警報ボイスについて

つづく

警報ボイス(47識別)

内蔵メモリに登録されているGPSデータのポイントに近づくと、オービスなどのターゲットを47種類に識別してお知らせします。

- 警報画面の表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- 警報音(ボイス)は、効果音のあとにお知らせします。

●高速道識別ボイス

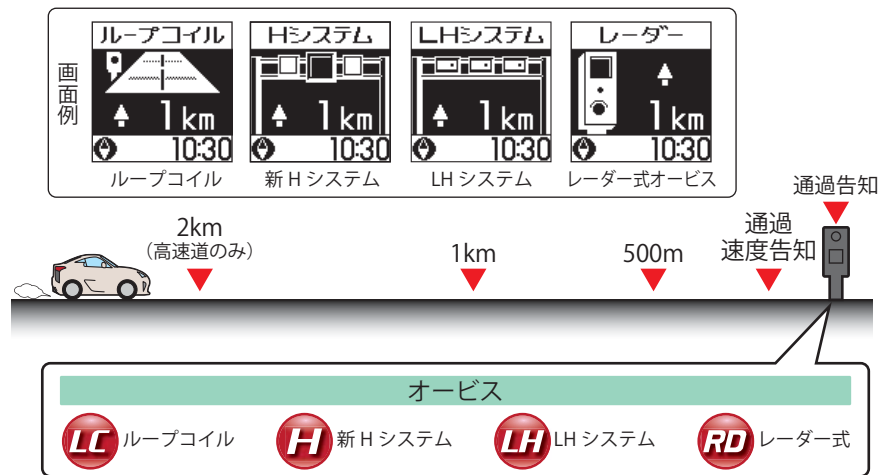
ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。

左右識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

- 『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

オービス 5段階警報



●警報音(ボイス)によるお知らせ(例)

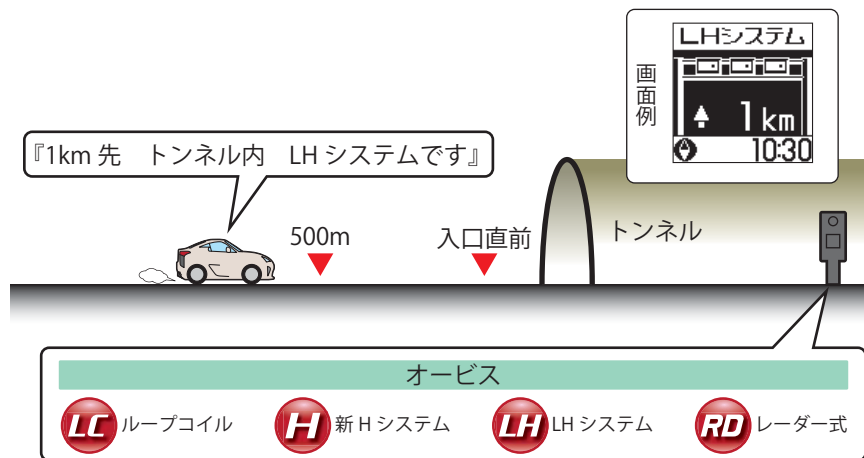
距離およびタイミング	お知らせ例	お知らせ条件
手前約2km(高速道のみ)	→『2km先 高速道 LHシステムです。』	車両の現在速度が走行路線の制限速度を超えている場合にお知らせします。
手前約1km	→『1km先 高速道 LHシステムです。』	GPSの受信状況により、『すぐ先』とお知らせすることがあります。
手前約500m	→『500メートル先 高速道 LHシステムです。』	
通過速度告知	→『走行速度は60キロ以下です。』	車両の現在速度をお知らせするもので、走行路線の制限速度ではありません。
通過告知	→『通過します』	

※このオービス5段階警報は、トンネル内オービスとトンネル出口ターゲットに対しては機能しません。

トンネル内オービス

トンネルの中ではGPSの電波が受信できないため、従来はトンネル内に設置されているオービスを警報できませんでした。本機では、トンネルの約500m手前と入口直前の2カ所(※)で、トンネル内のオービスを警報画面とボイスでお知らせします。

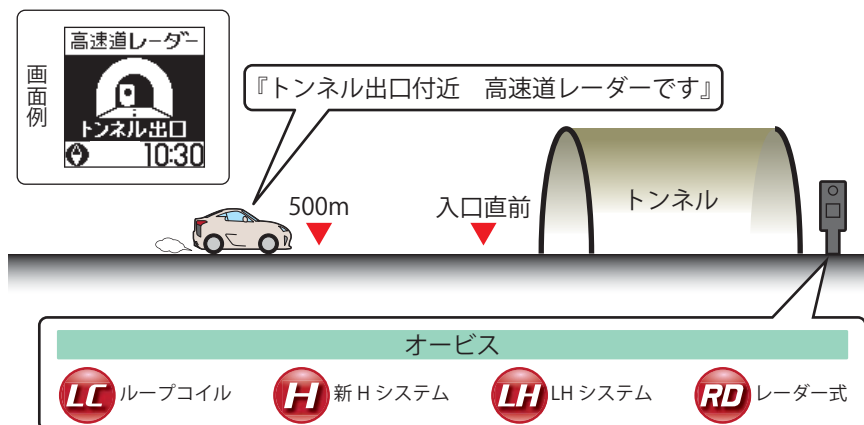
※GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。



トンネル出口ターゲット

トンネルの中ではGPSの電波が受信できないため、出口付近に設置されているオービスを警報できませんでした。本機では、トンネルの約500m手前と入口直前の2カ所(※)で、出口付近のオービスや道の駅などを警報画面とボイスでお知らせします。

※GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。

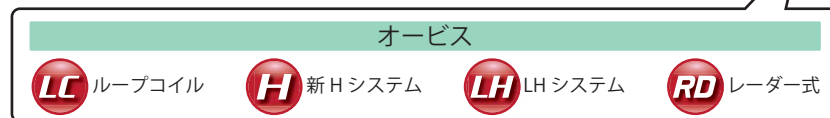


通過速度告知

オービス直前での現在速度をお知らせします。

『走行速度は〇〇です。』

「120キロ以上 / 120キロ以下 / 110キロ以下 / 100キロ以下 / 90キロ以下 / 80キロ以下 / 70キロ以下 / 60キロ以下 / 50キロ以下 / 40キロ以下 / 30キロ以下」のいずれかでお知らせします。



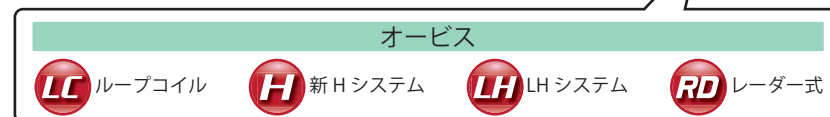
※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては、直前速度告知を行いません。
※マニュアルモード時は通過速度告知のON/OFFが可能です。

通過告知

オービスの撮影ポイント(※)やマイエリアポイントの通過を告知します。

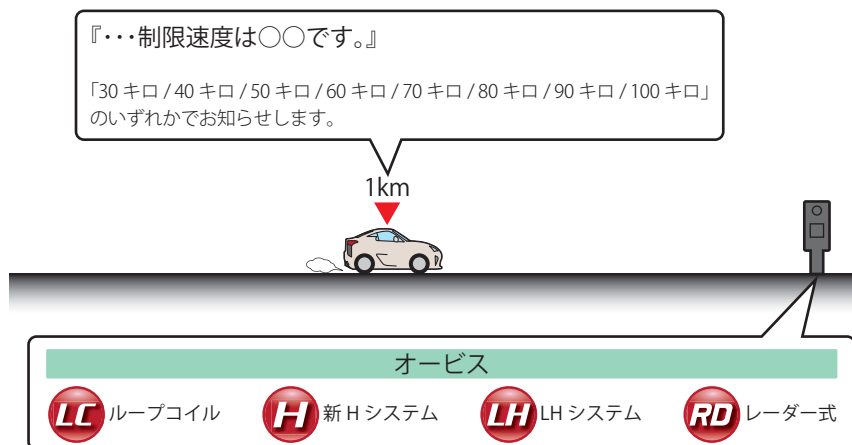
※実際のオービスの直下ではなく、その手前の撮影想定ポイントの通過をお知らせするようにしていますので、通過前に告知される場合があります。

- ・GPS電波の受信状況などにより、告知が遅れる場合があります。
- ・トンネル内オービス、トンネル出口ターゲットはGPSの電波が受信(測位)できないため、ターゲット通過告知がはたきません。



制限速度告知

約1km手前のオービス警報や取締エリア内の警報に続けて、走行中の道路の制限速度をお知らせします。



※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。
※トンネル出口ターゲットや制限速度が本機に登録されていない場合は、告知しません。
※マニュアルモード時は制限速度告知のON/OFFが可能です。

カメラ位置告知

約500m手前のオービス警報に続けて、オービスのカメラ位置をお知らせします。



※トンネル出口ターゲットに対しては、カメラ位置告知をしません。
※マニュアルモード時はカメラ位置告知のON/OFFが可能です。

制限速度超過告知

「制限速度告知」、「通過速度告知」、「制限速度切替告知」を行う際に、現在速度が制限速度を超えているときに、『スピード注意』または『速度超過です スピード注意』のボイスが付加されて流れます。

制限速度告知	のボイスに付加されます。
直前速度告知	
制限速度切替告知	

例	(10km/h 以上超過) 『スピード注意』
『...制限速度は 60 キロです。』 制限速度告知	+
	(30km/h 以上超過) 『速度超過です スピード注意』 速度超過告知を付加

※走行速度はGPSの受信状況により、実際の速度と異なる場合があります。
※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。
※マニュアルモード時は速度超過告知のON/OFFが可能です。

制限速度切替告知(高速道路のみ)

高速道路への進入ポイント、パーキングエリア、サービスエリアなどの出口ポイントや高速道路から、別の高速道路へのジャンクションで、高速道路本線の制限速度をお知らせします。



※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。
※マニュアルモード時は制限速度切替告知のON/OFFが可能です。

取締エリア

過去に「定置式取締り」、「移動式取締り」、「追尾式取締り」、「一時停止取締り」、「交差点取締り」などが行われていた場所が登録されています。

取締の登録ポイントから約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。

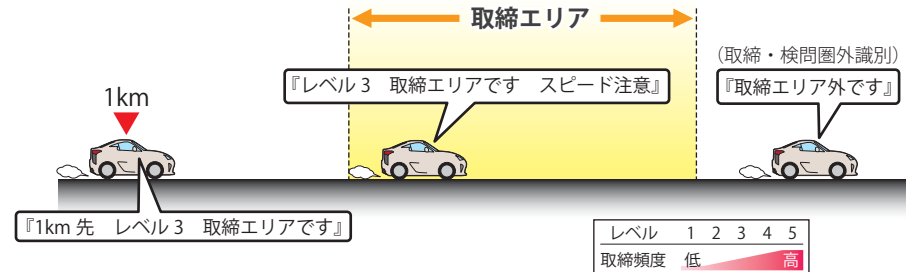
●ボイスによるお知らせ(例)

- ・約1km手前 →『1km 先 レベル3 取締エリアです』
- ・エリア内に入ったとき →『レベル3 取締エリアです スピード注意 取締エリアです スピード注意』
- ・エリア圏外になったとき →『取締エリア外です』

※一部の取締りエリアでは、約1km手前のお知らせを行いません。

※取締エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に取締りが行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

※マニュアルモード時は取締エリアのON/OFFが可能です。



トンネル内 追尾式取締 10:30	トンネル内追尾式取締エリア 『トンネル内 高速道 レベル3 追尾式取締エリアです』	移動オービス 500m 10:30	移動オービスエリア 『レベル5 光電管式移動オービスエリアです』	交差点取締 500m 10:30	交差点取締エリア 『レベル1 交差点取締エリアです』
トンネル出口直後 ネズミ捕り 10:30	トンネル出口直後ネズミ捕りエリア 『トンネル出ですぐ 高速道 レベル3 ネズミ捕りエリアです』	追尾式取締 500m 10:30	追尾式取締エリア 『レベル3 パトカー 追尾式取締エリアです』	その他取締 500m 10:30	その他取締エリア 『レベル1 取締エリアです』
ネズミ捕り 500m 10:30	ネズミ捕りエリア 『1km 先 レベル4 レーダー式 ネズミ捕りエリアです』	一時停止 取締 500m 10:30	一時停止取締エリア 『すぐ先 レベル2 一時停止取締エリアです』	取締エリア 圏外 10:30	エリア圏外 『取締エリア外です』

検問エリア

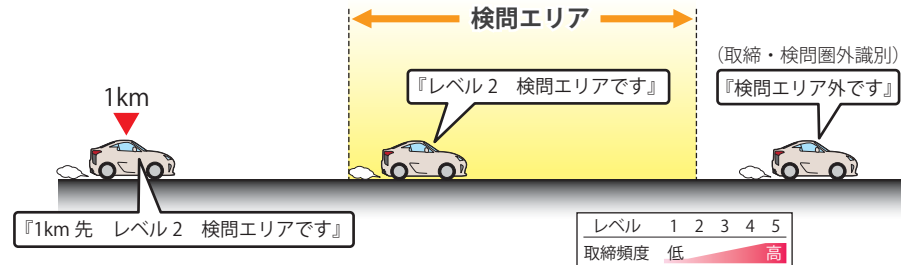
過去に「シートベルト検問」、「飲酒検問」、「携帯電話検問」などが行われていた場所が登録されています。検問の登録ポイントから約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。

●ボイスによるお知らせ(例)

- ・約1km手前 →『1km 先 レベル2 検問エリアです』
- ・エリア内に入ったとき →『レベル2 検問エリアです 検問エリアです』
- ・エリア圏外になったとき →『検問エリア外です』

※検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に検問が行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

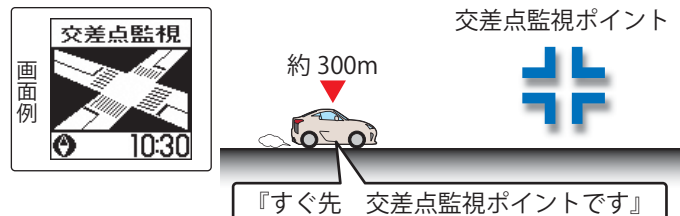
※マニュアルモード時は検問エリアのON/OFFが可能です。



シートベルト検問 500m 10:30	シートベルト検問エリア 『レベル5 シートベルト検問エリアです』	携帯電話検問 500m 10:30	携帯電話検問エリア 『レベル3 携帯検問エリアです』	その他検問 500m 10:30	その他検問エリア 『レベル2 検問エリアです』
飲酒検問 500m 10:30	飲酒検問エリア 『レベル4 飲酒検問エリアです』	検問エリア 圏外 10:30	エリア圏外 『検問エリア外です』		

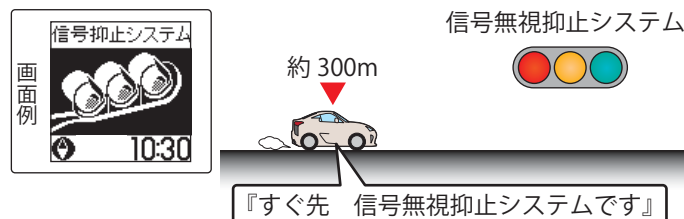
交差点監視ポイント

本機に登録されている、過去に検問が行われた交差点から約300mに接近するとお知らせします。
※マニュアルモード時は交差点監視ポイントのON/OFFが可能です。



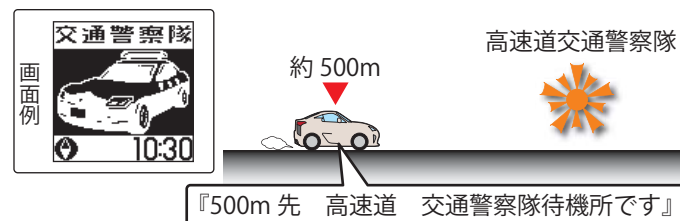
信号無視抑止システム

信号無視抑止システムから約300mに接近するとお知らせします。
※マニュアルモード時は信号無視抑止システムのON/OFFが可能です。



高速道交通警察隊

高速道交通警察隊待機所から約500mに接近するとお知らせします。
※GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知『500m先』を『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。
※マニュアルモード時は高速道交通警察隊のON/OFFが可能です。



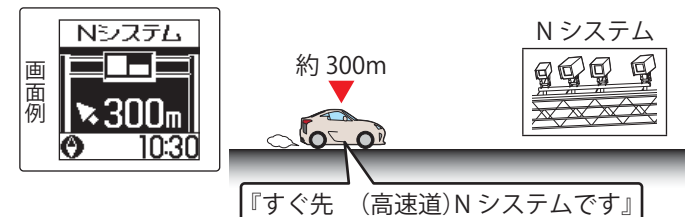
駐禁監視エリア

本機に登録されている違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車するとお知らせします。
※マニュアルモード時は駐禁監視エリアのON/OFFが可能です。



Nシステム

エヌ(N)システムから約300mに接近するとお知らせします。
※マニュアルモード時はNシステムのON/OFFが可能です。



エヌ(N)システムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。

交通監視システム

交通監視システムから約300mに接近するとお知らせします。
※マニュアルモード時は交通監視システムのON/OFFが可能です。



交通監視システムとは？

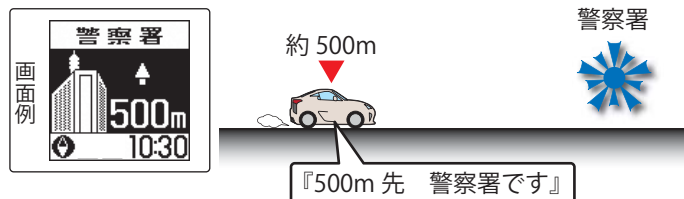
交通監視システムとは、「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。約300m手前から通過直前に、『(右／左方向)すぐ先交通監視システムです』とお知らせします。
・本システムは、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実績はありません。

警察署

警察署から約500m手前に接近するとお知らせします。

※ GPS 測位状況や走行ルートによって、距離の告知『500m先』を『すぐ先』とお知らせすることがあります。

※マニュアルモード時は警察署のON/OFFが可能です。

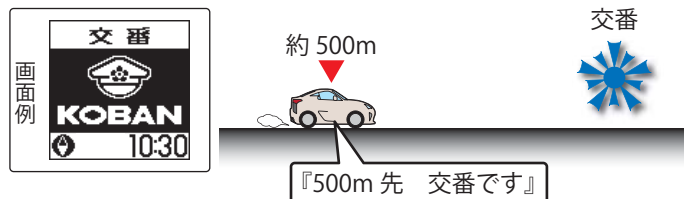


交番

交番から約500m手前に接近するとお知らせします。

※ GPS 測位状況や走行ルートによって、距離の告知『500m先』を『すぐ先』とお知らせすることがあります。

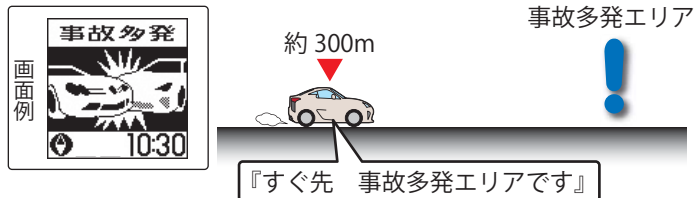
※マニュアルモード時は交番のON/OFFが可能です。



事故多発エリア

本機に登録されている、過去に事故が多発したエリアの約300m手前でお知らせします。

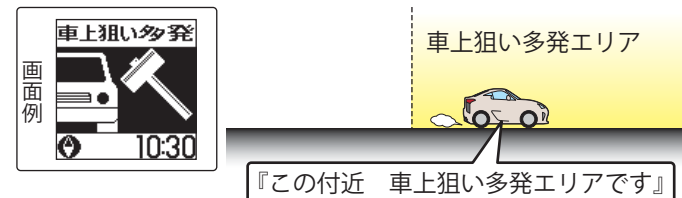
※マニュアルモード時は事故多発エリアのON/OFFが可能です。



車上狙い多発エリア

本機に登録されている車上狙い多発地域内で停車するとお知らせします。

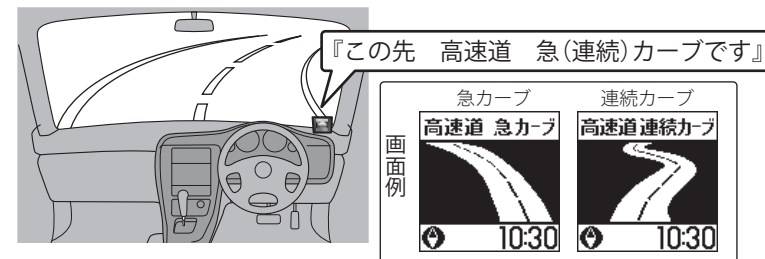
※マニュアルモード時は車上狙い多発エリアのON/OFFが可能です。



高速道 急/連続カーブ

高速道の急/連続カーブにさしかかるとお知らせします。

※マニュアルモード時は急/連続カーブのON/OFFが可能です。

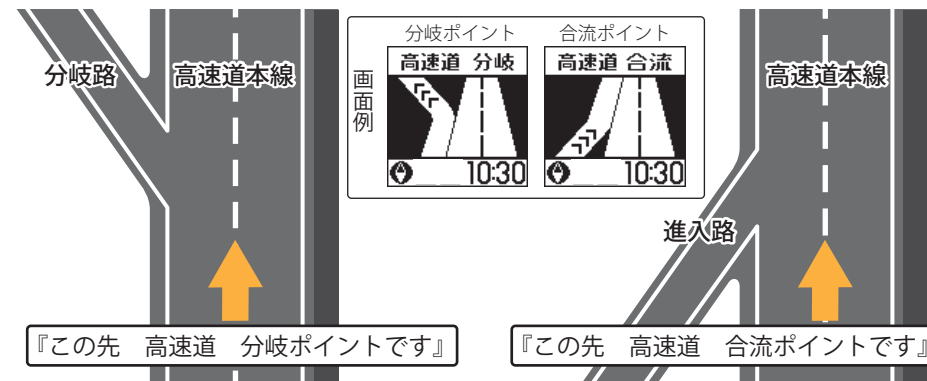


高速道 分岐/合流ポイント

高速道の分岐/合流ポイントにさしかかるとお知らせします。

※ GPS の受信状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。

※マニュアルモード時は分岐/合流ポイントのON/OFFが可能です。



ETCレーン事前案内

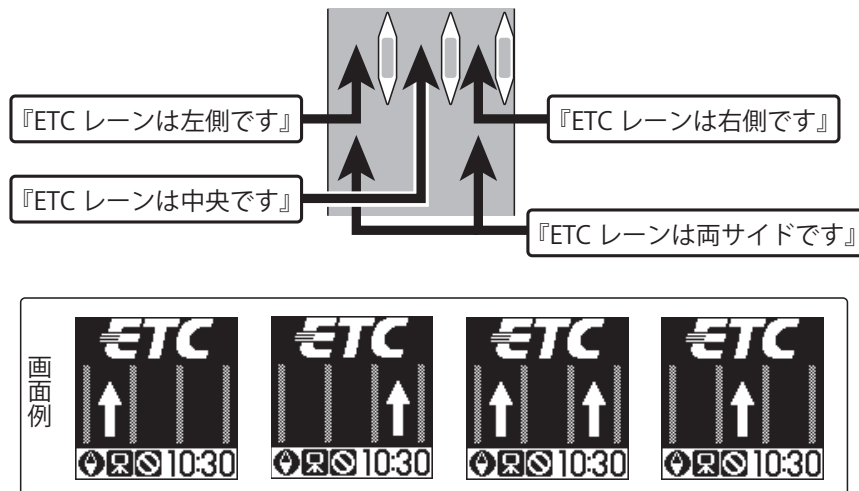
ETCのある料金所にさしかかると、『ETCレーンは ○○です』とお知らせします。

・ETCレーンは、左側、右側、中央、両サイドのいずれかでお知らせします。

※実際の料金所ブースの配置と説明イメージが異なる場合があります。その場合は、実際の標識等にしたがって進入してください。

※交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。

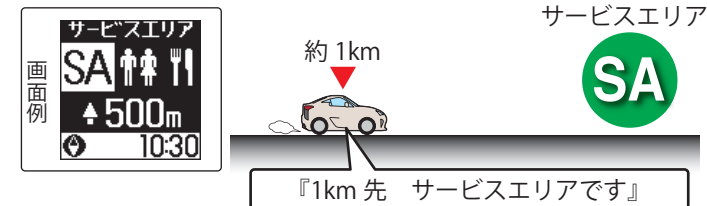
※マニュアルモード時はETCレーン事前案内のON/OFFが可能です。



サービスエリア

サービスエリアから約1kmに接近するとお知らせします。

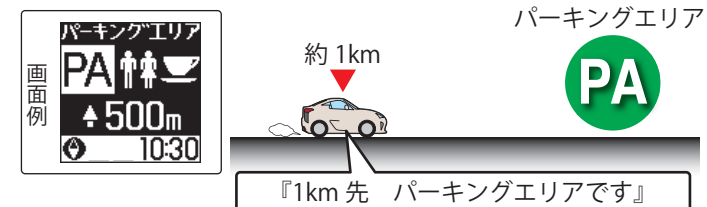
※マニュアルモード時はサービスエリアのON/OFFが可能です。



パーキングエリア

パーキングエリアから約1kmに接近するとお知らせします。

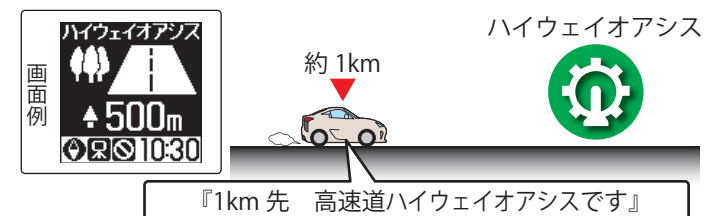
※マニュアルモード時はパーキングエリアのON/OFFが可能です。



ハイウェイオアシス

ハイウェイオアシスから約1kmに接近するとお知らせします。

※マニュアルモード時はハイウェイオアシスのON/OFFが可能です。

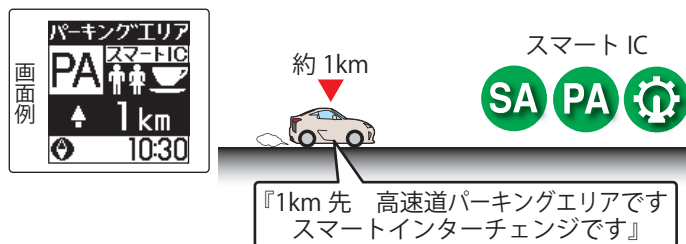


スマートIC

サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシスの告知後、スマートインターチェンジがある場合にお知らせします。

※サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせをOFFに設定すると、スマートインターチェンジのお知らせも行いません。

※マニュアルモード時はスマートICのON/OFFが可能です。



SA/PA内ガスステーション

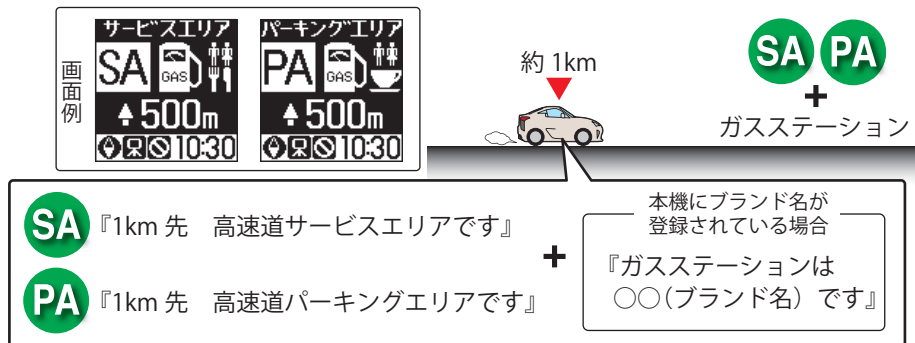
サービスエリアやパーキングエリアの告知後、ガスステーションがある場合にお知らせします。

・本機にブランド名が登録されている場合は、ブランド名もお知らせします。

※ ガスステーションのブランド名が登録されていない場合は、お知らせしません。

※サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせをOFFに設定すると、ガスステーションのお知らせも行いません。

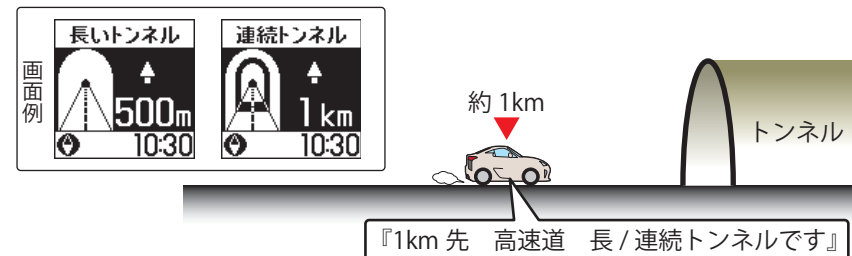
※マニュアルモード時はSA/PA内ガスステーションのON/OFFが可能です。



高速道 長/連続トンネル

高速道の長/連続トンネルから約1Kmに接近するとお知らせします。

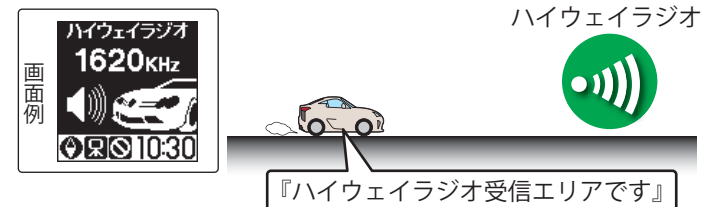
※マニュアルモード時は長/連続トンネルのON/OFFが可能です。



ハイウェイラジオ

ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。

※マニュアルモード時はハイウェイラジオのON/OFFが可能です。

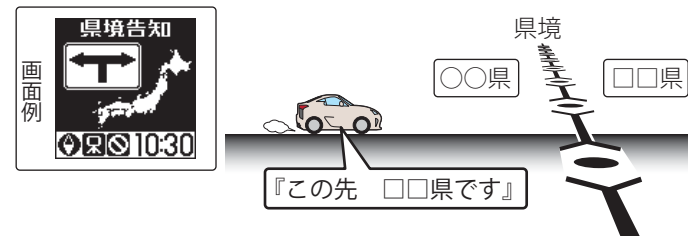


県境告知

県境に接近するとお知らせします。

※全ての道路で県境が登録されているわけではありませんので、あらかじめご了承ください。

※マニュアルモード時は県境告知のON/OFFが可能です。



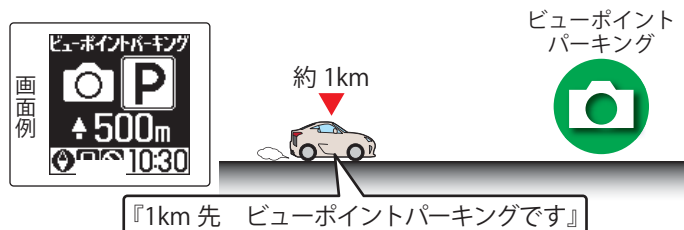
道の駅

道の駅から約1kmに接近するとお知らせします。
※マニュアルモード時は道の駅のON/OFFが可能です。



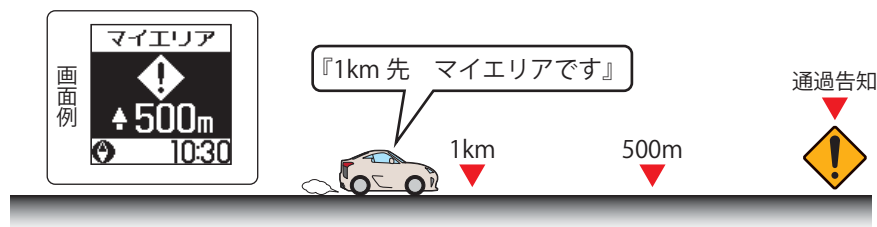
ビューポイントパーキング

ビューポイントパーキングから約1kmに接近するとお知らせします。
※マニュアルモード時はビューポイントパーキングのON/OFFが可能です。



マイエリア

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを、マイエリアとして自由に登録できます。
マイエリアの設定・設定解除については、「マイエリアの設定・解除」(●39ページ)をお読みください。



移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

- 登録数はマイエリア、インテリジェントキャンセル(●44ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。
- 1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する

- 登録したい地点でエリアボタン[AREA]を押す
『マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈マイエリアに登録してある箇所でエリアボタン[AREA]を押したとき〉

『マイエリアにセットされています』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、
『GPSを受信できません』とお知らせします。

登録したマイエリアを解除する

- マイエリア登録されているエリアで、エリアボタン[AREA]を長押し(約1秒間)する
『マイエリアを解除しました』とお知らせします。

- マイエリア・アイキャンセルエリアを全て解除(消去)するとき
エリアボタン[AREA]を約30秒間押したままにすると、『アイキャンセルエリアを全消去しました』とボイスでお知らせし、マイエリアとアイキャンセルエリアをすべて消去します。

・一度消すと元に戻せませんので、十分ご注意ください。

マイエリア登録したエリアに近づくとき…

手前約1km / 500m / 通過中の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向1km(500m)先マイエリアです』
とお知らせします。

〈通過中…〉

『通過します』とお知らせします。

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km 先』、『500m 先』)を『この先』や『すぐ先』とお知らせすることがあります。

各種無線電波を受信すると・・・



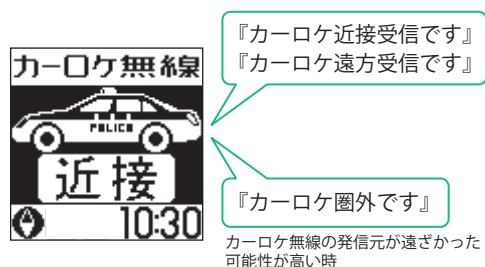
本機は、取締りレーダー波のX・K ツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

1. 無線2バンド受信機能

無線発信源の位置を表示することはできません

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

カーロケ(カーロケーターシステム)無線



カーロケーターシステムとは？

「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。

- カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。
- カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。

取締無線



取締無線とは？

スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締り無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。

- 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。

2. ベストパートナー2 識別

カーロケ無線を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。[圏外通知] [特許 第3780262 号]

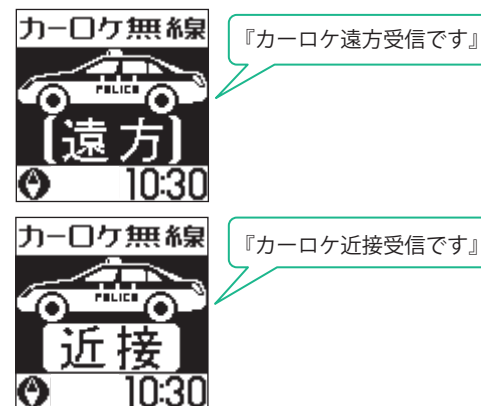
- ・カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

●無線設定(➡45 ページ)を「ON」にする

- ・「無線」がOFFの状態では、ベストパートナー2 識別を行いません。
- ・新システムへの移行により、カーロケ無線が受信しない地域では、ベストパートナー2 識別は、はたしません。

種々の無線を受信すると・・・

カーロケ遠近識別



緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき

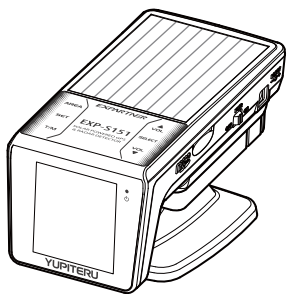
カーロケ圏外識別



カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

- ・警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー2 識別機能ははたしません。

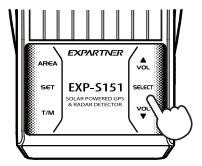
各種設定は、表示部を見ながら、本体のボタン操作で行います。



例 >>

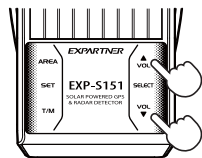
「AAC/ASS」を「OFF」にする場合
(☛ 45 ページ)

1 セレクトボタン[SELECT]を押す



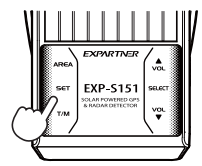
『ボイス ON です』とお知らせし、各項目の
設定状態が表示されます。

2 アップボタン、またはダウン
ボタンを押して「AAC」を選択する



▲アップボタン、▼ダウンボタンを押すご
とに、選択項目のON/OFFの状態を音声でお
知らせします。
※○○には選択項目が入ります。

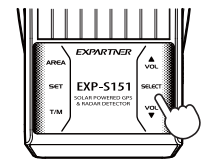
3 セットボタン[SET]を押してチェック
を外す



『OFF です』とお知らせし、設定が変更され
ます。
セットボタン[SET]を押すごとに『OFF で
す』、『ON です』とお知らせし、設定が変更
されます。

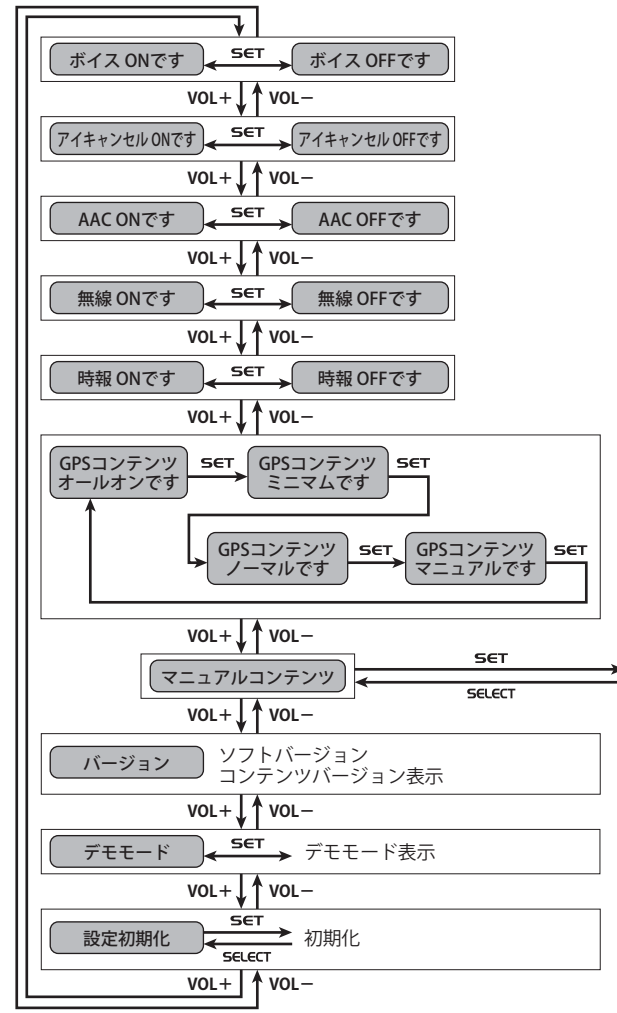
4 セレクトボタン[SELECT]を押す

「設定モード」を終了します。



設定項目一覧

セレクトボタン[SELECT]で設定モードに入ります。



マニュアルコンテンツ項目

- VOL+ VOL-
- オービス
- 通過速度
- 通過告知
- 制限速度
- カメラ位置
- 制限速度切替
- 速度超過
- 取締
- 検問
- 交差点監視
- 信号無視抑止
- 交通警察隊
- 駐禁
- Nシステム
- 交通監視
- 警察署
- 交番
- 事故多発
- 車上狙い
- 急カーブ
- 分岐合流
- ETC
- サービスエリア
- パーキングエリア
- ハイウェイアシス
- スマートIC
- ガソリンスタンド
- トンネル
- ハイウェイラジオ
- 県境
- 道の駅
- ビューポイント

各項目
[SET] で
ON/OFF

設定項目一覧

〈ボイス〉

レーダー波受信時の警報音を、「ON(ボイス)」または、「OFF(電子音)」から選択できます。
・初期値は「ON」に設定されています。

選択項目		警報のしかた
ON	ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
OFF	電子音	『ピピピピッ…』という電子音で警報します。

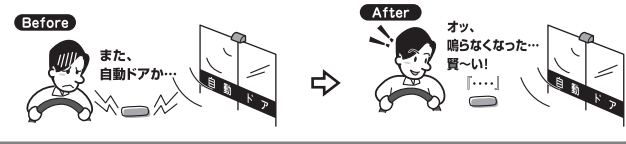
・GPSターゲットや無線による警報音は変更できません。

〈アイ(1)キャンセル〉(インテリジェントキャンセル) [特許 第3902553号]

インテリジェントキャンセル機能のON / OFF ができます。
自動ドアや反対車線のターゲットが原因で誤警報する場所を通過した際、GPS の位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。
登録数はマイエリア(●39 ページ)、インテリジェントキャンセルの合計で1,000カ所まで可能です。
1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

インテリジェントキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1 回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2 回目以降]



- ・GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- ・「1 キャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
- ・自動登録したエリアは、「1 キャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- ・登録されたエリアを消去したい場合は、マイエリアの全消去(●39 ページ)をご覧ください。

〈AAC〉

「ON」に設定すると、GPS 測位機能により、AAC/ 不要警報カットやASS/ 最適感度選択がはたります。

● AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km 未満は、レーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

〔AAC/ASS の動作〕

走行速度	受信感度		警報状態	パワー／AAC ランプ
0km～29km	—		警報しない	赤色
30km～39km	シティ	低い ↓ 高い	警報する	緑色
40km～	エクストラ			

- ・電源ON後、GPS測位するまでの間は、エクストラになります。
- ・走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でエクストラに変化します。
- ・「OFF」に設定すると、エクストラ感度に設定され、パワー／ACCランプはオレンジ色で表示します。

〈無線〉

「ON」に設定すると、カーロケ無線、取締無線の電波を受信した際、警報画面とボイスでお知らせします。
(●40ページ)

〈時報〉

「ON」に設定すると、1時間ごとに(〇〇時ちょうどになると)時刻をお知らせします。
・初期値は「ON」に設定されています。

〈GPSコンテンツ〉

本機には、カスタマイズを行うためのプリセットが3種類(「オールオン」、「ミニマム」、「ノーマル」と、好みにより個別に設定できる「マニュアル」が用意されています。(●46ページ)
・初期設定は「ノーマル」に設定されています。

〈マニュアルコンテンツ〉

GPSコンテンツを「マニュアル」に設定すると各設定項目を個別にON/OFF することができます。
(●46ページ)
・初期値は「ノーマル」と同様に設定されています。

〈バージョン〉

ソフトウェアのバージョンとコンテンツバージョン(GPSデータのバージョン)が表示されます。

〈デモモード〉

レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。

〈設定初期化〉

「初期化」を選択・決定すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

- ・いったん初期化すると、元には戻せませんのでご注意ください。
- ・本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

GPSコンテンツ

GPSコンテンツのプリセットは以下の種類が用意されています。

オールオン	すべての機能を ON に設定します。
ミニマム	最低限の項目だけを ON に設定します。
ノーマル	機能同士のバランスを重視したモードです。
マニュアル	個別に ON または、OFF に設定できます。

●マニュアル設定項目一覧

設定グループ	告知内容	オールオン	ミニマム	ノーマル	マニュアル (初期値)	説明 ページ
		以下の設定で固定されており変更できません			変更可能	
オービス	ループコイル	ON	ON	ON	(ON)	23
	LH システム					23
	新 H システム					23
	レーダー式オービス					23
	トンネル内オービス					24
	トンネル出口ターゲット					24
通過速度	通過速度告知	ON	ON	ON	(ON)	25
通過告知	通過告知	ON	ON	ON	(ON)	25
制限速度	制限速度告知	ON	ON	ON	(ON)	26
カメラ位置	カメラ位置告知	ON	ON	ON	(ON)	26
制限速度切替	高速道制限速度切替りポイント	ON	ON	ON	(ON)	27
速度超過	制限速度超過告知	ON	ON	ON	(ON)	27
マイエリア	マイエリア	ON	ON	ON	ON	39
取締	トンネル内追尾式取締エリア	ON	OFF	ON	(ON)	28
	トンネル出口直後ネズミ捕りエリア					28
	ネズミ捕りエリア					28
	移動オービスエリア					28
	追尾式取締エリア					28
	一時停止取締エリア					28
	交差点取締エリア					28
	その他取締エリア					28

設定グループ	告知内容	オールオン	ミニマム	ノーマル	マニュアル (初期値)	説明 ページ
		以下の設定で固定されており変更できません			変更可能	
検問	飲酒検問エリア	ON	OFF	ON	(ON)	29
	携帯電話検問エリア					29
	その他検問エリア					29
交差点監視	交差点監視ポイント	ON	OFF	OFF	(OFF)	30
信号無視抑止	信号無視抑止システム	ON	OFF	OFF	(OFF)	30
交通警察隊	高速道交通警察隊	ON	OFF	ON	(ON)	30
駐禁	駐禁最重点エリア	ON	OFF	ON	(ON)	31
	駐禁重点エリア					31
N システム	N システム	ON	OFF	OFF	(OFF)	31
交通監視	交通監視システム	ON	OFF	OFF	(OFF)	31
警察署	警察署	ON	OFF	OFF	(OFF)	32
交番	交番	ON	OFF	OFF	(OFF)	32
事故多発	事故多発エリア	ON	OFF	OFF	(OFF)	32
車上狙い	車上狙い多発エリア	ON	OFF	OFF	(OFF)	33
急カーブ	高速道 急 / 連続カーブ	ON	OFF	OFF	(OFF)	33
分岐合流	高速道 分岐 / 合流ポイント	ON	OFF	OFF	(OFF)	33
ETC	ETC レーン事前案内	ON	OFF	OFF	(OFF)	34
サービスエリア	サービスエリア	ON	OFF	OFF	(OFF)	35
パーキングエリア	パーキングエリア	ON	OFF	OFF	(OFF)	35
ハイウェイオアシス	ハイウェイオアシス	ON	OFF	OFF	(OFF)	35
スマート IC	スマート IC	ON	OFF	OFF	(OFF)	36
ガソリンスタンド	SA/PA 内ガスステーション	ON	OFF	OFF	(OFF)	36
トンネル	高速道 長 / 連続トンネル	ON	OFF	OFF	(OFF)	37
ハイウェイラジオ	ハイウェイラジオ	ON	OFF	OFF	(OFF)	37
県境	県境告知	ON	OFF	OFF	(OFF)	37
道の駅	道の駅	ON	OFF	OFF	(OFF)	38
ビューポイント	ビューポイントパーキング	ON	OFF	OFF	(OFF)	38

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

スピード違反の取締り方法

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



2. 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。

測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

- 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

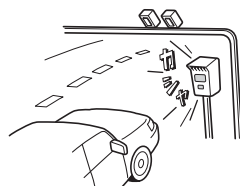
取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機

(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



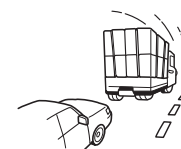
移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕



〔下り坂〕



〔コーナー〕

ステルス型取締りについて

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	- 電源スイッチがONになっていますか。(●16ページ) - ニッケル水素電池が消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 - オートパワーOFF 機能がはたらいていませんか。ニッケル水素電池だけでご使用の際は、停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。(●17ページ)
充電できない	- 太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 - シガープラグコードで充電できないときは、シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。 - 本機の充電温度範囲は、-5℃～+85℃です。安全のため高温時や低温時は充電ができません。
レーダー警報しない	- 電源が入っていましたか。(●16ページ) - 警報音は鳴りますか。テスト&ミュートボタン[T/M]を長押しして確認してください。(●17ページ) - 取締りレーダー波が発射されていませんか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 - インテリジェントキャンセルされていませんか。(●44ページ) - 受信感度モードが「AAC/ASS」の場合、時速30km未満のときは警報しません。(●45ページ)
GPS警報しない	- GPS測位していましたか。(●22ページ) - 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。
取締りもしないのに警報機能がはたらく	- 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— - 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車両通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 - まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(●20ページ)

症 状	チェック項目
ひんぱんに無線警報する	- 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。 - また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
取締り現場なのに 350.1MHzを受信しない	「無線」を「ON」に設定していましたか。(●45ページ) - 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
誤警報がキャンセルされない	「インテリジェントキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。(●44ページ) - GPS測位していましたか。(●22ページ) - 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありますでしたか。 - 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

電源電圧	：DC 12V （シガープラグ入力充電電圧）	動作温度範囲	：－20℃～＋85℃ （無線部：-10℃～＋60℃）
消費電流	：待機時：15 mA 以下 最大：180 mA 以下	充電温度範囲	：－5℃～＋85℃
受信方式	：[GPS 部] 12チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スweepオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	受信周波数	：[GPS 部] 1.6GHz 帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF 部] 350.1 / 470.7MHz 帯
表示部	：反射型画素メモリー液晶	外形寸法	：49 (W) × 43 (H) × 99 (D) mm （ブラケット除く）
		本体重量	：約130g（電池含む）

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスでGPS ターゲットデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は、下記ホームページを参照ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html>

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプランをご利用の際には、クラブにご入会ください。入会手続きは下記ホームページから行っていただけます。

◆ ity. クラブホームページアドレス
<http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールにお願いします。

◆ ユピテル ity. クラブ窓口

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

 0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。（➡ 54ページ）

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼される時

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルで相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



 **0120-998-036**

MEMO

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.